

平成24年度

専攻科学生募集要項

(出願書類等添付)

入 学 案 内



独立行政法人国立高等専門学校機構

苫小牧工業高等専門学校

TOMAKOMAI NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地

電 話： (0144) 67-8906 (学生課入試担当)

F A X： (0144) 67-8031 (学生課)

E-mail： kyomu@office.tomakomai-ct.ac.jp

U R L： <http://www.tomakomai-ct.ac.jp>

携帯電話からのアクセス (緊急のお知らせ時)

<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/i/entrance/>



平成24年度苫小牧工業高等専門学校専攻科学生募集要項

I アドミッションポリシー（学生受け入れ方針）

苫小牧高専専攻科は、すでに工学の基礎を修得した高専卒業生等で、次のような人の入学を歓迎します。

- ・より高度でより幅広い「ものづくり」に意欲のある人
- ・専門分野のより高度な技術を学びたい人
- ・科学技術を通して国際社会に貢献したい人
- ・人間と自然との共生に取り組む意欲のある人

II 募集人員

専攻	入学定員	
電子・生産システム工学専攻	12名	計20名
環境システム工学専攻	8名	

III 選抜方法

1. 高等専門学校長の推薦による入学者の選抜（推薦選抜）
2. 学力検査による入学者の選抜（学力選抜）
3. 社会人特別選抜

IV 選抜日程

区分	出願期間	検査日	選考結果通知日
推薦選抜	5月9日(月)～5月13日(金)	5月21日(土)	5月27日(金)
学力選抜	5月26日(木)～6月1日(水)	6月11日(土)	6月15日(水)
社会人特別選抜	5月26日(木)～6月1日(水)	6月11日(土)	6月15日(水)

V 高等専門学校長の推薦による入学者の選抜（推薦選抜）

1. 出願資格

- (1) 平成24年3月に高等専門学校卒業見込みの者で次のいずれかに該当し、学校長が推薦する者
 - ① 出身学科における第4学年の成績順位が上位20位以内の者
 - ② 出身学科における第4学年の全科目の成績の平均が75点以上の者
- (2) 英語において、別表①にあげる各テスト・検定の証明書等を有し、かつ、出願基準を満たしている者

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成23年5月9日(月)から平成23年5月13日(金)
郵送の場合は、5月13日(金)午後5時必着とします。
- (2) 受付時間 午前9時から午後5時まで
- (3) 受付場所 苫小牧工業高等専門学校 学生課入試担当
〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地
電話 0144-67-8906

3. 出願書類

入学志願者は、次の書類等を整え、出身高等専門学校を経て本校学生課入試担当に提出してください。

(1)	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2)	調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。
(3)	写真 (2枚)	縦5.5cm×横4.5cm、上半身、無帽、正面向き、出願日前3か月以内に撮影した写真を入学願書、受験票に貼り付けてください。
(4)	推薦書	本校所定の用紙を使用し、出身学校長が作成したものを提出してください。
(5)	証明書等 (英語)	別表①に示す証明書等について、いずれか1つの書類を提出してください。 (コピー可)
(6)	入学検定料	16,500円。本校所定の「検定料振込依頼書」に必要事項を記入して、銀行の窓口で振込みのうえ、取扱銀行収納印のある「検定料振込済証明書」を「振込済証明書貼付票」に貼り付けてください。
(7)	返信用封筒 (受験票送付用)	志願者の住所・郵便番号及び氏名を記入し、郵便切手350円(速達料を含む)を貼り付けてください。
(8)	あて名票	本校所定の用紙を使用し、必要事項を記入したものを提出してください。
(9)	その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

※ 出願及び受験上の留意事項

- ① 郵送で出願の場合は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類で必要事項の未記入など、不備なものは受け付けません。
- ③ 願書提出後は、志望専攻及びその他の記載事項の変更、証明書等(英語)の差替えは認めません。
- ④ 出願時に証明書等(英語)をコピーで提出した場合は、試験日当日に必ずその原本を持参してください。
- ⑤ 受理した出願書類及び入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。
※ 証明書等(英語)の原本は、試験終了後、直接本人に返還します。
- ⑥ 試験日当日は必ず受験票を携帯してください。
- ⑦ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 選抜の方法

推薦による入学者選抜は、面接(専門科目に関する口頭試問を含む。)、出身学校長から提出された推薦書及び調査書の内容等を総合判定で行います。

- (1) 面接日時 平成23年5月21日(土)午前9時30分から
※ 開始時刻の20分前までに本校の指定する場所に集合してください。
- (2) 面接場所 苫小牧工業高等専門学校

5. 選考結果の通知

平成23年5月27日(金)

推薦学校長あてに選考結果を文書で通知し、併せて合格内定者には「合格内定通知書」を送付します。

6. 入学確約書の提出

推薦選抜に合格内定した者は、平成23年6月7日（火）午後5時までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書の提出がない場合は、本校に入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

7. 合格者の発表

平成23年7月13日（水） 午後2時

本校学生玄関に受験番号を掲示し発表するとともに、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、本校ホームページ (<http://www.tomakomai-ct.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載します。
電話・ファックス等による可否の照会には一切応じません。

8. 推薦選抜で不合格となった者の学力検査の受験

推薦選抜で不合格となった者が、学力検査による選抜を希望するときは、「学力検査による入学者の選抜」を受験することができます。この場合は、学力検査による選抜の出願手続を改めて行ってください。

ただし、調査書及び外国人登録済証明書の再提出を要しません。

Ⅵ 学力検査による入学者の選抜（学力選抜）

1. 出願資格

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
 - ② 短期大学を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
 - ③ 専修学校の専門課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
 - ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
 - ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑥ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑦ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (2) 英語において、別表①にあげる各テスト・検定の証明書等を有し、かつ、出願基準を満たしている者

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成23年5月26日（木）から平成23年6月1日（水）
郵送の場合は、6月1日（水）午後5時必着とします。
- (2) 受付時間 午前9時から午後5時まで
- (3) 受付場所 苫小牧工業高等専門学校 学生課入試担当
〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地
電話 0144-67-8906

3. 出願書類

入学志願者は、次の書類等を整え、本校学生課入試担当に提出してください。

(1)	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2)	調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。 ・出願資格(1)の①により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者は出身高等学校の調査書も併せて提出してください。 ・出願資格(1)の③により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 (ア) 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 (イ) 専修学校専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類
(3)	写真 (2枚)	縦5.5cm×横4.5cm、上半身、無帽、正面向き、出願日前3か月以内に撮影した写真を入学願書、受験票に貼り付けてください。
(4)	証明書等 (英語)	別表①に示す証明書等について、所有する全ての書類（各書類最高位のもの）を提出してください。（コピー可）
(5)	入学検定料	16,500円。本校所定の「検定料振込依頼書」に必要事項を記入して、銀行の窓口で振込みのうえ、取扱銀行収納印のある「検定料振込済証明書」を「振込済証明書貼付票」に貼り付けてください。
(6)	返信用封筒 (受験票送付用)	志願者の住所・郵便番号及び氏名を記入し、郵便切手350円（速達料を含む）を貼り付けてください。
(7)	あて名票	本校所定の用紙を使用し、必要事項を記入したものを提出してください。
(8)	その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

※ 出願及び受験上の留意事項

- ① 郵送で出願の場合は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類で必要事項の未記入など、不備なものは受け付けません。
- ③ 願書提出後は、志望専攻及びその他の記載事項の変更、証明書等（英語）の差替えは認めません。
- ④ 出願時に証明書等（英語）をコピーで提出した場合は、試験日当日に必ずその原本を持参してください。
- ⑤ 受理した出願書類及び入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。
※ 証明書等（英語）の原本は、試験終了後、直接本人に返還します。
- ⑥ 試験日当日は必ず受験票を携帯してください。
- ⑦ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 選抜の方法

学力検査による入学者選抜は、学力検査（証明書等（英語）にもとづく換算得点を含む）、面接及び出身学校長から提出された調査書の内容等を総合判定で行います。

(1) 学力検査及び面接日 平成23年6月11日（土）午前9時20分から

※ 開始時刻20分前までに本校の指定する場所に集合してください。

(2) 学力検査の試験科目

専攻名	試験科目	出題範囲及び科目
各専攻共通	数 学	(出題範囲) 偏微分、重積分、微分方程式、線形代数、フーリエ解析、複素関数、確率
	英 語	出願時に提出された証明書等にもとづく換算得点を用いる
電子・生産システム工学専攻	専門科目※	(次の科目より出願時に2科目選択) 材料力学、水力学、熱力学、電気磁気学、電気回路、電子デバイス、ソフトウェア工学、計算機工学
環境システム工学専攻	専門科目※	(次の科目より出願時に2科目選択) 構造力学、水理学、地盤工学、無機・分析化学、有機化学、物理化学、生化学、化学工学

※ 受験者は、試験科目の中から2科目選択して、入学願書の記入欄に記入してください。

(3) 学力検査、面接の時間及び場所

試験科目等	時 間	場 所
数 学	9:20~10:50	苫小牧工業高等専門学校 (苫小牧市字錦岡443番地)
専 門 科 目	11:10~12:40	
面 接	13:30~	

5. 選考結果の通知

平成23年6月15日(水)

本人あてに選考結果(合否)を文書で通知し、合格内定者には「合格内定通知書」を送付します。

6. 入学確約書の提出

学力選抜に合格内定した者は、平成23年7月8日(金)午後5時までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書の提出がない場合は、本校に入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

7. 合格者の発表

平成23年7月13日(水) 午後2時

本校学生玄関に受験番号を掲示し発表するとともに、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、本校ホームページ(<http://www.tomakomai-ct.ac.jp>)に合格者の受験番号を掲載します。電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

Ⅶ 社会人特別選抜

1. 出願資格

- (1) 企業等における在職期間が1年以上ある者で、次のいずれかに該当する者
- ① 高等専門学校を卒業した者
 - ② 短期大学を卒業した者
 - ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
 - ④ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑥ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑦ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (2) 英語において、別表①にあげる各テスト・検定の証明書等を有し、かつ、出願基準を満たしている者

2. 願書の受付

- (1) 受付期間 平成23年5月26日（木）から平成23年6月1日（水）
郵送の場合は、6月1日（水）午後5時必着とします。
- (2) 受付時間 午前9時から午後5時まで
- (3) 受付場所 苫小牧工業高等専門学校 学生課入試担当
〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地
電話 0144-67-8906

3. 出願書類

入学志願者は次の書類等を整え、本校学生課入試担当に提出してください。

(1)	入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
(2)	調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。 ・出願資格(1)の①により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者は出身高等学校の調査書も併せて提出してください。 ・出願資格(1)の③により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 (ア) 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 (イ) 専修学校専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類
(3)	写真 (2枚)	縦5.5cm×横4.5cm、上半身、無帽、正面向き、出願日前3か月以内に撮影した写真を入学願書、受験票に貼り付けてください。
(4)	志望調書	本校所定の用紙を使用し、志願者が作成したものを提出してください。
(5)	証明書等 (英語)	別表①に示す証明書等について、いずれか1つの書類を提出してください。 (コピー可)

(6)	入学検定料	16,500円。本校所定の「検定料振込依頼書」に必要事項を記入して、銀行の窓口で振込みのうえ、取扱銀行収納印のある「検定料振込済証明書」を「振込済証明書貼付票」に貼り付けてください。
(7)	返信用封筒 (受験票送付用)	志願者の住所・郵便番号及び氏名を記入し、郵便切手350円（速達料を含む）を貼り付けてください。
(8)	あて名票	本校所定の用紙を使用し、必要事項を記入したものを提出してください。
(9)	その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

※ 出願及び受験上の留意事項

- ① 郵送で出願の場合は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 出願書類で必要事項の未記入など、不備なものは受け付けません。
- ③ 願書提出後は、志望専攻及びその他の記載事項の変更、証明書等（英語）の差替えは認めません。
- ④ 出願時に証明書等（英語）をコピーで提出した場合は、試験当日に必ずその原本を持参してください。
- ⑤ 受理した出願書類及び入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。
※ 証明書等（英語）の原本は、試験終了後、直接本人に返還します。
- ⑥ 試験日当日は必ず受験票を携帯してください。
- ⑦ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 選抜の方法

社会人特別選抜は、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）、志望調書及び出身学校長から提出された調査書の内容等を総合判定で行います。

- (1) 面接日時 平成23年6月11日（土）午前9時30分から
※ 開始時刻の20分前までに本校の指定する場所に集合してください。
- (2) 面接場所 苫小牧工業高等専門学校

5. 選考結果の通知

平成23年6月15日（水）

本人あてに選考結果（合否）を文書で通知し、合格内定者には「合格内定通知書」を送付します。

6. 入学確約書の提出

社会人選抜に合格内定した者は、平成23年7月8日（金）午後5時までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書の提出がない場合は、本校に入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

7. 合格者の発表

平成23年7月13日（水） 午後2時

本校学生玄関に受験番号を掲示し発表するとともに、合格者に「合格通知書」を送付します。
また、本校ホームページ (<http://www.tomakomai-ct.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載します。
電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

VIII 入学手続

合格者に、別途お知らせします。

IX 注意事項

身体に障がいのある入学志願者との事前相談

本校に入学を志願する者で、身体に障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱等）があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、次により申し出てください。

① 申し出の期限

平成23年5月6日（金）

② 申し出の方法

必要事項を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書又は身体障がい者手帳の写しを添付して提出してください。

必要な場合は、本校において志願者及び保護者等関係者との面談を行うことがあります。

「申請書記載事項」

(ア) 氏名、志望専攻名

(イ) 障がいの種類、程度

(ウ) 受験上特別の配慮を希望する事項

(エ) 修学上特別の配慮を希望する事項

(オ) 在籍学校等でとられていた特別の措置

(カ) 日常の生活状況

X 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録

(3) 入学料、授業料の免除申請の審査

(4) 奨学金申請の審査

(5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

XI その他

(1) 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課入試担当へ問い合わせてください。

(2) 願書提出後住所を変更したときは、ただちに本校学生課入試担当に届け出てください。

(3) 受験のための宿舎は斡旋しません。

別表①

苫小牧工業高等専門学校 専攻科入学者選抜
英語に関する出願基準と提出書類一覧

・推薦選抜、社会人特別選抜

下表に示すスコア・級について、いずれか一つの書類を出願時に提出してください。

・学力選抜

下表に示すスコア・級について、所有する全ての書類（各書類最高位のもの）を出願時に提出してください。

		出 願 基 準 (英語能力)	提 出 書 類
国際コミュニケーション 英語能力テスト (TOEIC)	公開テスト (TOEIC)	300点以上	公式認定証 (Official Score Certificate)
	団体特別受験制度 (TOEIC-IP)	300点以上	個人成績表 (Score Report)
英語運用能力測定試験 (TOEFL)	TOEFL PBT (Paper-based Test)	400点以上	公式スコア票 (Official Score Report) もしくは 受験者用控えスコア票 (Examinee Score Record)
	TOEFL iBT (Internet-based Test)	32点以上	
	団体向けテストプログラム TOEFL ITP (Institutional-based Test) ※ Level 1 TOEFL のみ対象	400点以上	スコアレポート (スコアカード)
実用英語技能検定		準 2 級以上	合格証明書 ※2003年度第1回検定より前の合格者 については合格証書でも可とします

※ TOEIC・TOEFLについては、各選抜試験実施日からさかのぼって2年を過ぎたものについては無効とします。

※ いずれも出願時に願書等とともに送付してください。(出願時はコピーでもかまいません)

※ 出願後のスコアや級の差し替えは認めません。

※ 学力選抜においては、提出された書類のうち、最も高い得点に換算されるものを採用します。

※ 出願時に証明書等のコピーを提出した受験者については、試験日当日に原本が必要となります。原本がない場合、受験資格を失いますので十分に注意してください。なお、原本は試験終了後、直接本人に返還します。

※ 合格発表後でも、提出書類に改ざん等不正が見つかった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

入 学 案 内

1. 専攻科での教育について

(1) 専攻科課程

高専の専攻科は、高等専門学校における5年間の教育課程（準学士課程）の上に設けられた2年間の課程（専攻科課程）です。

本校専攻科の教育課程では、一般教養科目、専門基礎科目、専門科目をバランス良く開講しています。出身学科に関連する専門科目を重視しながらも、幅広い分野について柔軟に選択履修できるようにになっています。

専攻科に入学した学生は、本校の目的（p.15）に述べられている専攻科課程の学習・教育目標を達成するように学習を進めます。

(2) 専攻の種類と教育内容

科学技術の急速な進展や情報通信技術の飛躍的進歩に伴い、従来独立していた専門分野の技術者が互いに協力して研究開発に携わる機会が増え、一つの専門分野だけではなく、複数の専門分野、あるいは境界領域分野に関する専門的知識を有する技術者の必要性が高まっています。

本校の専攻科には二つの専攻が用意されています。いずれの専攻でも特別実験、特別演習、特別研究に多くの時間をあてており、自主的な学習と研究を通して独創性と開発能力に富んだ技術者を育成できるようになっています。

【電子・生産システム工学専攻】

電子・生産システム工学専攻では、準学士課程で修得した機械・電気電子・情報工学の知識や技術を基礎とし、境界領域を認識しつつ「ものづくり」の基礎となる幅広い分野の実践的・複合的能力を身に付けることができます。

【環境システム工学専攻】

環境システム工学専攻では、準学士課程で修得した物質工学・環境都市工学の知識や技術を基礎とし、境界領域を認識しつつ、素材・材料、生物機能、社会基盤に関する分野の実践的・複合的能力を身に付けることができます。

(3) 専攻科入学以前の修得科目について

本校専攻科課程の教育はJABEE認定を受けた「環境・生産システム工学教育プログラム」（p.16）の一部ですので、定められたいくつかの科目については出身学校等であらかじめ修得している必要があります。出身の学科や学校あるいは科目の選択方法によってはこれを満足していない可能性がありますので、入学後、これらの科目について教科書やシラバス、答案等の提出を求め、修得した内容を確認することがあります。修得科目やその内容に不足が存在すると認められる場合は、本校の補講又は科目履修等により単位を修得する必要があります。

「詳しくは、本校「環境・生産システム工学」教育プログラムの履修及び修了に関する規程を参照してください。なお、本規程は本校HP（<http://www.tomakomai-ct.ac.jp>）の「情報公開」「規程集」「第5章 教務・学生」にも掲載されています。

(4) 専攻科の科目

専攻科の科目は別表「専攻科教育課程表」(p.13)に示す「一般科目」、「専門共通科目」及び「専門科目」で構成されています。

(5) 学位(学士)の取得方法

大学評価・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

本校の専攻科は、同機構の認定を受けておりますから、修了時に学位(学士)を取得する途が開かれています。

2. 経費について

(1) 入学時に必要な主な経費

- ・ 入学料 84,600円
- ・ 授業料(前期分) 117,300円(年額234,600円)
- ・ 教科書代、保険料等その他諸経費がかかります。

(注) 授業料等の額は、平成24年度の予定額です。なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

(2) 入学料及び授業料の免除等

① 入学料の免除及び徴収猶予

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人若しくは本人の学資を負担している者が風水害等の災害を受けた場合など、特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、入学料の免除(全額又は半額)又は徴収を猶予する制度があります。

② 授業料免除及び徴収猶予

経済的な理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる場合、又は入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合など、授業料の納付が困難であると認められる者に対し、その期の授業料の免除(全額又は半額)又は徴収を猶予する制度があります。

(3) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構において、学業、人物ともに優秀で、かつ、健康で、経済的理由により著しく修学が困難であり、学資の貸与が必要であると認められる者に対し、奨学金が貸与される制度があります。

3. その他

その他詳細については、下記にお問い合わせください。

連絡先：苫小牧工業高等専門学校 学生課入試担当

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地

電 話：0144-67-8906 (学生課入試担当)

F A X：0144-67-8031 (学生課)

E-mail：kyomu@office.tomakomai-ct.ac.jp

U R L： <http://www.tomakomai-ct.ac.jp/>

別表

専攻科教育課程表

一般科目（各専攻共通）

区分	授業科目	単位数		学年別単位		備考
		必修	選択	1年	2年	
一般科目	応用英語Ⅰ	2		2		
	応用英語Ⅱ	2		2		
	異文化コミュニケーション	2		2		
	現代日本経済論		2		2	
	中国文化論		2		2	
	日本語表現法		2		2	
開設単位合計		6	6	6	6	
修得単位合計		8以上		8以上		

電子・生産システム工学専攻

区分	授業科目	単位数		学年別単位		備考	
		必修	選択	1年	2年		
専門科目	技術者倫理	2		2		} 応用数学特論Ⅰ・Ⅱより1科目以上 選択	
	応用数学特論Ⅰ		2	2			
	応用数学特論Ⅱ		2	2			
	ライフサイエンス	2		2			
	量子論	2		2			
	熱統計力学	2		2			
	品質システム工学	2			2		
	創造工学	2		2			
	エンジニアリングデザイン	2			2		
	マルチメディア工学	2		2			
	防災工学	2		2	2		
	寒地環境工学特論	2		2	2		
	開設単位合計		20	4	16	8	
	修得単位合計		22以上		22以上		
専門科目	弾性学	2		2			
	固体力学特論		2	2			
	電子物性工学特論	2			2		
	材料システム工学		2		2		
	エネルギー変換工学特論		2		2		
	流体力学		2	2			
	応用計測工学		2	2			
	回路工学特論		2	2			
	ロボット工学		2		2		
	符号理論		2	2			
	情報ネットワーク工学		2		2		
	情報システム設計		2		2		
	ハードウェアシステム設計		2	2			
	センサ工学		2	2			
学外研修	2		2				
電子・生産システム工学特別実験	2		2				
電子・生産システム工学特別演習	2			2			
電子・生産システム工学特別研究	14			14			
開設単位合計		24	24	20	14		
修得単位合計		32以上		32以上			

(注) 別に定める他の大学等で履修した場合、その修得単位のうち専門科目14単位を上限とし、修得単位に含めることができる。

環境システム工学専攻

区分	授業科目	単位数		学年別単位		備考
		必修	選択	1年	2年	
専門共通科目	技術者倫理	2		2		} 応用数学特論Ⅰ・Ⅱより1科目以上 } 選択
	応用数学特論Ⅰ		2	2		
	応用数学特論Ⅱ		2	2		
	ライフサイエンス	2		2		
	量子論	2		2		
	熱統計力学	2		2		
	品質システム工学	2			2	
	創造工学	2		2		
	エンジニアリングデザイン	2			2	
	マルチメディア工学	2		2		
	防災工学	2			2	
	寒地環境工学特論	2			2	
	開設単位合計	20	4	16	8	
	修得単位合計	22以上		22以上		
専門科目	材料科学		2	2		} 材料科学・コンクリート工学より } 1科目以上選択
	コンクリート工学		2	2		
	有機材料工学		2		2	
	水理学特論		2		2	
	固体力学特論		2	2		
	弾性学		2	2		
	流体力学		2	2		
	都市システム工学		2		2	
	地盤工学特論		2	2		
	道路工学特論		2		2	
	環境分析化学		2	2		
	セルロース工学		2	2		
	生物機能工学		2	2		
	プロセスエンジニアリング		2		2	
学外研修	2		2			
環境システム工学特別実験	2		2			
環境システム工学特別演習	2			2		
環境システム工学特別研究	14			14		
開設単位合計	20	28	22	12		
修得単位合計	32以上		32以上			

(注) 別に定める他の大学等で履修した場合、その修得単位のうち専門科目14単位を上限とし、修得単位に含めることができる。

苫小牧高専の目的について

本校の目的

本校では、以下に掲げる教育理念、要請すべき人材像、学校全体の学習教育目標および準学士（本科）と専攻科の両課程の学習・教育目標をもって本校の目的としています。

(1) 教育理念

苫小牧工業高等専門学校は、高等教育機関として、科学・技術に興味を持つ学生を受け入れ、個性と能力を重んじつつ心身の成長を促進し、幅広い教養と「ものづくり」の実践を基本とした専門的知識及び技術を付与し、時代の要請に応じて、国際社会で通用する主体的行動を展開できる能力を備えた創造的な技術者を養成する。

(2) 養成すべき人材像

- I 豊かな人間性を持った技術者
- II 確固とした工学知識と能力を持った技術者
- III 創造性ある実践的技術を持った技術者

(3) 苫小牧高専の学習・教育目標

- (A) 教養：地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
- (B) 倫理と責任：技術者としての倫理観や責任感を身につける。
- (C) コミュニケーション：日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
- (D) 工学基礎：数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
- (E) 継続的学習：技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
- (F) 専門の実践技術：ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。
- (G) 複合領域の実践技術：他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。
- (H) 社会と時代が求める技術：社会や時代が要求する技術を認識し、それらを応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。
- (I) チームワーク：自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。

(4) 専攻科課程の学習・教育目標

専攻科課程の学習・教育目標は、「環境・生産システム工学教育プログラム」の学習・教育目標（p.17）とほぼ同じです。ただし、教育プログラムの目標のA-1およびA-2は準学士課程（本科）で達成されるため、専攻科課程の目標にはありません。

教育プログラムと JABEE 認定

1. JABEE とは

JABEE とは Japan Accreditation Board for Engineering Education の頭文字で、日本語では日本技術者教育認定機構といます。

大学、高専などの高等技術者教育機関で実施されている教育プログラムが、社会や国際的な要求水準を満たしているかどうかを公平に評価し、審査・認定する機関で、平成11年11月に設立されました。JABEE は平成17年にワシントン・アコードに正式加盟し、国際的に認められた機関ですので、JABEE で認定された教育プログラムを修了した修了生は、国際的に通用する技術者として認められます。

JABEE が認定の対象とするのは、学士に対応する技術者育成のための教育プログラムを指しますから、高専の場合は本科（準学士課程）4、5年と専攻科1、2年の計4年間の教育プログラムが該当します。認定を受けるためには、その学校の教育プログラムが JABEE の基準を達成していることが求められます。前述しましたが、本校は平成17年度に審査を受け、平成18年5月に認定されております。平成22年度には継続審査を受けております。

所定の要件（後述）を満たして本校の教育プログラムを修了すれば、国際的に通用する工学教育を修了したことが保証されます。また、国内的には技術士の一次試験が免除されて修習技術者（技術士補となる資格を有する者）となり、技術士を目指すスタート地点に立つこととなります。

2. 教育プログラムの名称等

認定分野：工学（融合複合・新領域）関連分野

教育プログラム名：環境・生産システム工学

3. 教育プログラムの修了要件

- (1) 教育プログラムにおいて、124単位以上を修得していること。
- (2) 学士（工学）の学位を取得していること。
- (3) 教育プログラムにおいて、1600時間以上の授業が実施されていること。ただし、この中には250時間以上の人文科学・社会科学等（語学含む）、250時間以上の数学・自然科学・情報技術及び900時間以上の専門分野の学習時間を含まなければならない。
- (4) 教育プログラムのすべての学習・教育目標を達成していること。
(学習・教育目標を達成するためには、TOEIC で400点相当以上となることも含まれています。)
以上を全て満たすことで「環境・生産システム工学」教育プログラム修了者となります。

4. 教育プログラムの学習・教育目標

環境・生産システム工学教育プログラムの学習・教育目標を次頁に示します。なお、専攻科課程の学習・教育目標はこの目標とほぼ同じですが、A-1 および A-2 は準学士課程で達成されるため、専攻科課程の目標にはありません。

苫小牧高専「環境・生産システム工学」教育プログラムの学習・教育目標

I 豊かな人間性を持った技術者

- (A)教養：地球的視点で自然や環境を考え、歴史、文化、社会などについて広い視野を身につける。
- A-1：社会、経済、法学、哲学、歴史、文化、言語など社会科学および人文科学に関する基本的な事項について説明できる。
 - A-2：社会科学および人文科学における概念や方法論を認識できる。
 - A-3：地球環境や社会における問題点を整理し、社会科学および人文科学の知識、概念、方法論に基づいて多様な観点から考えることができる。
- (B)倫理と責任：技術者としての倫理観や責任感を身につける。
- B-1：技術者倫理、技術史、関係法規、安全工学、リスクマネジメントなどに関する基本的な事項について説明できる。
 - B-2：環境問題の論点を整理し、技術者倫理と工学の知識に基づいて問題を分析できる。
 - B-3：技術が自然や社会に与える影響を理解し、現代社会における技術の問題を認識したうえで、技術者としての社会的責任を考えることができる。
- (C)コミュニケーション：日本語で記述、発表、討論するプレゼンテーション能力と国際的な場でコミュニケーションをとるための語学力の基礎能力を身につける。
- C-1：自分の考えを論理的、客観的にまとめてプレゼンテーションができる。
 - C-2：相手の意見や主張を理解し、自分の考えをまとめて討論できる。
 - C-3：日本語による実践的文書作成を効果的、効率的に行うことができる。
 - C-4：英語で書かれた論文などを正しく読解し、その内容を日本語で説明できる。
 - C-5：英語で簡単なコミュニケーションをとることができる。

II 確固とした工学知識と能力を持った技術者

- (D)工学基礎：数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識と応用力を身につける。
- D-1：線形代数、解析、確率・統計などの数学に関する基礎的な問題を解くことができる。
 - D-2：物理、化学、生物に関する基礎的な問題を解くことができる。
 - D-3：情報技術に関する知識を活用できる。
 - D-4：数学、自然科学、情報技術および工学の基礎知識を応用し、設計・システム系、情報・論理系、材料・バイオ系、力学系、社会技術系の工学的問題を解決できる。
- (E)継続的学習：技術者としての自覚を持ち、自主的、継続的に学習できる能力を身につける。
- E-1：技術の変化に関心を持ち、自主的に新たな知識や適切な情報を獲得できる。
 - E-2：工学知識、技術の修得を通して、自主的・継続的に学習することができる。

Ⅲ 創造性ある実践的技術を持った技術者

(F)専門の実践技術：ものづくりに関係する工学分野のうち、得意とする専門領域を持ち、その技術を実践できる能力を身につける。

F-1：ものづくりや環境に関係する工学分野のうち、選択した領域の専門分野の知識を持ち、基本的な問題を解くことができる。

F-2：実験、演習、研究を通して、課題を認識し、専門知識と技術を生かして解決案を考えることができる。

F-3：問題解決のための実施計画を立案・実行し、データを正確に収集して適切な方法により解析できる。

F-4：得意とする専門領域の技術を実践した結果を工学的に考察して、期限内にまとめることができる。

(G)複合領域の実践技術：他の専門領域も理解し、自身の専門領域と複合して考察し、境界領域の問題解決に適用できる応用技術を身につける。

G-1：自身の専門領域に加えて、他領域の基礎的な実験ができる。

G-2：自身の専門領域の技術に、他領域の知識と技術を複合し、創造性を発揮して問題に取り組み、解決の方向へ進めることができる。

G-3：複数の専門領域に関する知識と技術を用いて境界領域を認識できる。

G-4：苦小牧の地域性を理解し、自らの専門分野との関わりを考えることができる。

(H)社会と時代が求める技術：社会や時代が要求する技術を認識し、それらを応用してシステム化や製品化するデザイン能力、開発能力、とりまとめ能力を身につける。

H-1：社会が要求する技術課題を広い視野でとらえ、システム、プロセス、製品について、与えられた条件下でより良い設計や解決案を立てることができる。

H-2：寒冷地でのエネルギー・環境技術の現状と課題および将来動向について概説できる。

(I)チームワーク：自身の専門領域の技術者とは勿論のこと、他領域の技術者ともチームを組み、計画的かつ円滑に仕事を遂行できる能力を身につける。

I-1：共同作業による責任と義務を認識し、状況に応じてリーダーやスタッフなどの役割を果たすことができる。

I-2：グループ内の複数の意見を集約して、実行へ移すための計画案を提案し、合意された事柄に対して協力できる。